

町田駅周辺開発推進計画【概要版】

01 はじめに（背景と目的）

背景 01

開発機運の高まり

まちづくりの推進

背景 02

多摩都市モノレール
町田方面延伸

基盤等の見直し

背景 03

首都圏南西部における
新たな拠点形成の動き

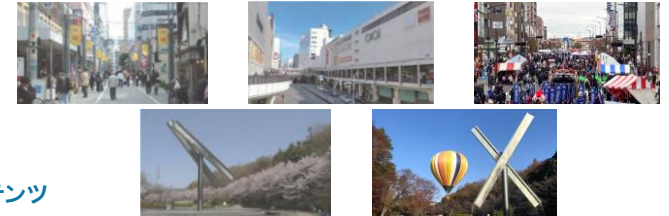
まちの差別化・魅力向上

官民が連携を図ったまちづくりを推進するため
町田駅周辺開発推進計画の策定

個性ある店舗や魅力あふれる商店街など、今ある町田らしい資源も活かしつつ、官民が連携しながら、さらに多様な魅力を持つまちへと転換していくことを目指して、駅周辺開発におけるまちづくり関係者の共通指針として「町田駅周辺開発推進計画」を策定します。

02 駅周辺の魅力

- ・商業集積地としての賑わい
- ・水や緑を感じる豊かな自然
- ・都心や観光エリアへの交通利便性
- ・多くの人が集まる活気あるイベント
- ・アートやスポーツなど魅力的なコンテンツ



03 課題

- ・鉄道利用者がまちなかへ訪れる機会が少ない
→駅から駅への乗換だけではなく、まちへ引き込むような求心力のある機能導入が必要
- ・駅前の視認性が低い
→まちなかが見通せるような視認性の高い、ゆとりある駅前空間の整備が必要
- ・まちなかのオープンスペースが不足している
→誰もが自由に利用できる憩いのスペースとして、広場などの滞留空間が必要
- ・駅周辺施設の老朽化が進行している
→駅周辺施設の機能更新にあわせて、一体的につながりを持ったまちづくりが必要
- ・公共交通や一般車の乗降スペースが不足している
→分散するバスの乗降スペースを集約するとともに、誰もが利用しやすい交通結節点としての整備が必要
- ・周辺市と比較して、突出する都市機能が不足している
→町田の魅力を向上させるような新たな都市機能の導入などが必要

04 開発コンセプト

いつだってまちだ ～ 新たなにぎわいと交流の創出 ～

これからも多くの人々に“町田に行ってみよう、町田で集まろう”と思ってもらえるようなまちであり続けるために、3つの鉄軌道を受け止め、便利で快適・居心地の良い駅前空間を創出するとともに、これまで培ってきた町田らしい商業の賑わいに“誰かと一緒に楽しむ・体験する”といった新しい賑わいを加えることで、これからも賑わいと交流が生まれ続けるまちづくりを目指していきます。

凡例

開発推進地区（A地区、B地区、C地区、D地区）

開発推進地区と連携を図りながら魅力的な空間を誘導していくエリア

快適な歩行者空間等に配慮した街並みを誘導していくエリア

南の玄関口を推進していくエリア



開発によって「まち」がこう変わる！

- ・もっと、感動を！ そうだ！ まちで集まろう！！
まちの新たな「にぎわい」・「集客力」
- ・もっと、便利に！ いつでも新しい出会いを！
駅からまちへの便利な回遊動線
- ・もっと、身近に！ 町田ならではの暮らし方を！
「職・住・楽」の近接による新たなライフスタイル

開発イメージ

まちの新たな賑わい創出による「駅前の顔」

- ・新たな駅前の顔づくりとして、ここでしか体験できない集客機能の導入
- ・駅前の顔にふさわしい空間と動線の形成
- ・多様なワークスタイルやライフスタイルへの対応
- ・まちなかからB～D地区までをシームレスにつなぐ動線の創出

導入機能イメージ



大規模なオープンスペースを活かした新たな「賑わいと憩いの空間」

- ・これまでの町田駅前にない、ここでしか体験できない集客機能の導入
- ・緑豊かな環境と境川の親水性を活かした憩いの空間づくり
- ・ゆとりある都市型居住環境の整備
- ・災害時における避難機能
- ・まちなかからB～D地区までをシームレスにつなぐ動線の創出

導入機能イメージ



B地区

D地区

B地区

C地区

A地区

A地区

C地区

公共交通機関の集約と町田の「シンボル」

- ・3つの鉄軌道が交差する新たな交通結節点として「交通ターミナル」の集約化
- ・町田のシンボルエリアとして、周辺の商業エリアと連続した賑わいと空間の形成

導入機能イメージ



町田の文化や学びを発信する「交流拠点」

- ・町田らしい文化や学びの発信地として、劇場やアートギャラリーの導入
- ・人々が集う場としての交流の拠点づくり
- ・世代を超えて、誰もが自由に学ぶことができる教育・文化施設
- ・まちなかからB～D地区までをシームレスにつなぐ動線の創出

導入機能イメージ



05 目標・方針

目標1 個性と魅力があふれ、誰もがワクワクするまちづくり

方針

- ・視認性の高い「駅前空間」を創出する
- ・多くの人々が憩える「滞留空間」を整備する
- ・駅前にふさわしい「賑わいの顔づくり」を誘導する
- ・町田の魅力を向上させる「新たな機能」を導入する

目標2 駅からまちへ賑わいが広がり、歩いて楽しいまちづくり

方針

- ・駅前からまちへのシームレスな歩行者動線を整備し「まち全体の回遊性」を高める
- ・誰にでもわかりやすく、快適で便利な「交通ターミナル」を整備する

目標3 みんなが安心でき、周辺と調和を図った住み心地の良いまちづくり

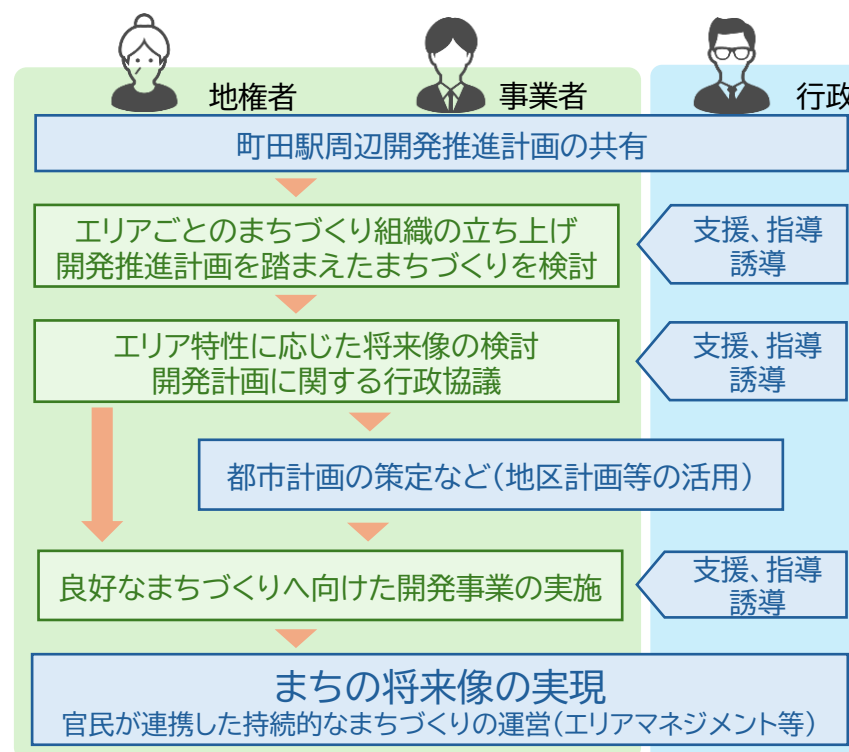
方針

- ・周辺の街並みとの「調和」を図る
- ・豊富な自然を駅前でも感じることができる「みどりの軸」を形成する
- ・災害に強い「安全・安心なまち」をつくる

06 まちづくりの実現に向けて

各主体の協働・連携によるまちづくりの実施

まちの将来像の実現に向けて、地権者、事業者、市民、行政等が本計画をまちづくりの指針として共有した上で、各主体の協働・連携によるまちづくりを進めていきます。



(仮称)開発推進連絡協議会

開発推進地区の代表者や地域のまちづくり関係者、交通事業者などが情報交換・情報共有できる場として(仮称)開発推進連絡協議会の立ち上げを検討します。

【メンバー】

町田市	学識経験者	交通関係事業者
地域のまちづくり 関係者	A、B、C、D地区代表者	
など		